

～推しが尊すぎて全裸になった結果、 Xトレンド1位逮捕されました～

森下佳奈は、26歳のOL。普段は地味なオフィスワークに勤しむ彼女だが、心の奥底には抑えきれない情熱があった。

それは、推しのアイドル、天海蓮への盲目的な愛。蓮は人気アイドルグループ「Starlight」のセンターで、甘い歌声と妖艶なダンスでファンを魅了する存在だ。佳奈は毎回のライブに欠かさず参戦し、彼のステージに心を奪われていた。

しかし、佳奈の人生にはもう一つの情熱があった。黒崎龍——彼女の「ご主人様」。龍は32歳のIT企業経営者で、佳奈とはSM掲示板を通じて出会った。龍の支配的な性格に惹かれ、佳奈は自ら彼の奴隷となることを誓った。龍の命令は絶対。拒否すれば罰が待っている。佳奈はそれが

怖いのに、興奮を覚える自分に戸惑っていた。

ある夜、龍のマンションで、佳奈はいつものように跪いていた。彼女の首には黒い革の首輪が巻かれ、鎖が龍の手につながれている。「お願いしますご主人様……！ 蓮くんのライブチケット、もう取っちゃったんです…… だから……どうかライブに参戦させてください……！！」部屋は薄暗く、キャンドルの炎が揺らめく。「佳奈、命令だ。お前の推しのライブがあるだろう？ あそこに、全裸で参戦しろ」龍の声は低く、冷酷だった。佳奈の心臓が激しく鼓動した。ライブ会場は東京ドーム。数万人の観客が詰めかける大規模なものだ。全裸で？ そんなの不可能……でも、龍の目は本気だった。「ご、ご主人様……それは……無理です。捕まってしまいます……」佳奈の声は震え、涙目で龍を見上げる。彼女の体はすでに熱くなり、下腹部が疼いていた。龍は笑みを浮かべ、鎖を引いて佳奈の顔を近づける。

「無理？ お前は私の奴隷だろう？ 拒否するなら、今すぐこの関係を終わらせるか？ それとも、罰を受けたいのか？」 龍の指が佳奈の頬を撫で、首輪をきつく締める。佳奈は息を荒げ、恥ずかしさと興奮が入り混じる。彼女は蓮のライブを諦めたくなかった。推しの歌声に包まれたい。でも、全裸で……想像するだけで体が震える。「わかりました……ご主人様。従います……」 佳奈は囁くように答えた。

龍は満足げに頷き、佳奈の服を一枚一枚剥ぎ取る。彼女の白い肌が露わになり、豊かな乳房が揺れる。龍は佳奈の秘部に指を這わせ、彼女の反応を楽しむ。「いい子だ。会場まで裸でいくんだ。コートも何も着るな。興奮するだろう？ お前の推しの前で、こんなに濡れて」 佳奈の体は龍の言葉に反応し、蜜が溢れ出す。彼女は恥辱に顔を赤らめながらも、命令のスリルに酔っていた…